

病棟実習Ⅰ・Ⅱ

実施責任者

教育研究開発センター長

- 1 対象学年 病棟実習Ⅰ：2年生
病棟実習Ⅱ：3年生

2 目的

- ① 病棟訪問実習を通じて医療現場を理解し、チーム医療のあり方を理解する。
- ② 病棟訪問実習によって医師となる自覚、モラル・人間性を身につける。

3 実施日

2年生 令和4年11月24日（木）、12月1日（木） 1限、2限
（オリエンテーション：令和4年10月28日（金）3限）
3年生 令和4年9月27日（火）、9月29日（木） 1限、2限
（オリエンテーション：令和4年9月21日（水）3限）

4 集合場所

各医局前（研究棟または実習棟）
※上記集合場所と異なる場合は別途通知する。

5 実習方法

- ① 外来あるいは病棟において、指導医と行動を共にし、医療を体験する。
- ② 実習中は指導者の指示に従い、決して単独行動をしてはならない。
- ③ 数名ずつのグループに分かれ、配属先の科で実習する。

6 実施内容

指導医の指示に従い、外来や病棟診療を見学および体験する。

7 実習当日のスケジュール

1日目 登校後 検温、更衣
名札の受け取り
9:30 集合場所へ集合
（時間厳守、グループ全員で揃って訪ねること）
※名札は2日目も使用するので大切に保管すること

2日目 登校後 検温、更衣
9:30 集合場所へ集合
（時間厳守、グループ全員で揃って訪ねること）
実習終了後 名札を返却

7 服装

- ① 白衣（汚れがなくアイロンのかかったもの）を着用し白衣の前ボタンは必ず留めること。白衣の下はワイシャツ、ネクタイや華美でないブラウス等が望ましい。
※柄物のTシャツやスクラブは禁止。
※ジーンズ、レザーパンツ、ミニスカートは禁止。
- ② 不織布のマスクを各自で用意し、着用すること。
- ③ 名札（胸ポケットにとめること）
※学生課より配付。実習終了後に返却すること。

- ④ 靴（足先が覆われ、体液がしみこまず、清潔で活動的、かつ音のしないもの）
- ⑤ その他
頭、髪、爪などで患者さんに不潔感、不安感を与えないように注意する。
※極端な茶髪など頭髪の異常な脱色・着色は禁止。髪の色は、黒に近い色で、他人が見て自然な色に。
髪の中の長い女性の場合は、必ず後ろで束ねること。
※爪は短く切り、マニキュア等は除去しておくこと。
※イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪等のアクセサリ類は外しておくこと。
※実習を行うのに不適切な服装とオリエンテーションや病棟で判断された者は、病棟実習を認めない。

9 所持品

筆記具、ノート等

（※携帯電話等の電子機器類を持参したり使用したりしないこと。）

10 使用更衣室

各自の更衣室を使用する。

集合時間に間に合うように着替えをすませておくこと。

11 病棟（外来）体験日誌（レポート）

- ① 病棟実習日誌として、実習内容についての行動の記録・感想を各自で記載して、その内容をレポート用紙にまとめる。
- ② 提出締切日
 - ・ 2年生：令和4年12月9日（金）
 - ・ 3年生：令和4年10月7日（金）各学年とも学生課担当宛てにメールで提出すること。提出締切日は厳守。

12 評価の方法

実習への出席、実習態度、病棟実習日誌（レポート）の内容により評価する。なお、提出されたレポートについては、実習先の科に送付する。病棟実習の評価（アンケート）は、指導担当責任者にも依頼する。

無断欠席者、実習態度の不真面目な者、レポート未提出者及びレポートの内容が不備な者等は進級できないことがある。

13 「病棟訪問実習」オリエンテーション（予定）

- (1) 日時
 - ・ 2年生：令和4年10月28日（金） 3限
 - ・ 3年生：令和4年9月21日（水） 3限
- (2) 場所
講義室2又は3（別途通知）
- (3) 内容
教育研究開発センター長より留意事項等の説明
オリエンテーション（グループ分け、実習先 等）

14 病棟訪問実習を受けるにあたって

(1) 実習生としての心構え

- ① 和歌山県立医科大学の学生であるという誇りを持つ。
- ② 身だしなみに留意（マニキュア、長い爪、茶髪、ピアス、指輪等は装着しない）し、相手に不快感や不安感をあたえないようにする。
- ③ 関係者には礼儀正しく、かつ節度ある態度で接する。
- ④ 人との出会いは挨拶から。言葉づかいに気をつける。
- ⑤ 決められた時間を守る。
- ⑥ 守秘義務を守る。

(2) 何を目標とするか

- ① 早期に医療の現場を体験し、専門職としての医師のプロフェッショナルリズムを身に着ける。
- ② 患者さんを中心としたチーム医療の状況、多職種連携の重要性を理解する。
- ③ 医療現場におけるコミュニケーションやの重要性を理解する。
- ③ 病院の組織や機能を理解する。

(3) 行動するにあたって

- ① 指導教員の指示に従う。
- ② わからないことは質問し、患者の生命に危険が及ばないように、よく理解して行動する。
- ④ 与えられた仕事は、責任を持って行う。その結果の報告は速やかに行う。
- ④ 診療体験、見学等には積極的に参加する。
- ⑤ 病棟備品等は大切に取り扱い、私物化しない。もし、破損事故があれば、直ちに報告する。

(4) その他留意事項

- ① 遅刻や欠席の場合は速やかに学生課に連絡すること。
- ② 体調管理には特に留意し、健康アプリのデータ送信を徹底すること。
(※大学へ登校したら、実習開始前に体温チェックもおこなうこと。)
- ③ 感染対策として、マスク着用、手洗い、手指消毒を徹底すること。